

下北の国有林

令和8年度版



むつ市脇野沢地区の親子サル



国民の森林・国有林

林野庁 東北森林管理局
下北森林管理署

1 下北流域の国有林

下北森林管理署は、青森県下北流域 5市町村の国有林野を管轄しており、その面積は、約8万7千ヘクタールです。

管内市町村の水がめとして重要な森林や恐山山地森林生態系保護地域などの貴重な自然環境、せせらぎの森自然観察教育林(むつ市川内町)、恐山・薬研自然観察教育林(むつ市大畑町)等のレクリエーションエリアがあり、公益的機能の発揮が期待される森林地帯です。

また、下北流域の森林全体の約73%が国有林と非常に高い割合となっており、地域に果たす役割も極めて大きいものとなっています。



	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	計
市町村 区域面積 (ha)	86,420	5,209	29,532	6,946	13,505	141,612
国有林	58,393	3,280	7,608	5,204	11,566	86,051
民有林	15,118	591	13,909	1,333	831	31,782
計	73,511	3,871	21,517	6,537	12,397	117,833
森林率	85%	74%	73%	94%	92%	83%

※国有林面積は「国有林野施業実施計画」の対象とする森林である。

※国有林野面積は原野等の森林以外の面積も含む。

2 森林の機能に応じたさまざまな取組み

◎治山事業の実施



【下風呂地区山腹工】

森林は木材を供給するだけでなく、水を育み、災害を防ぎ、心に安らぎや潤いを与えてくれるなど、大切な働きをしています。このような公益的機能の発揮が特に必要な森林を「保安林」に指定し、その整備に努めています。

当署管内では国有林野の約86%が保安林に指定されており、災害を防止するため、治山ダムの設置などを通じた森林整備を実施しています。

管内の保安林面積

保安林の種類	面積 (ha)	
水源かん養	70,114	川の水源としてきれいな水を供給すると共に、洪水や濁水を防ぎます。
土砂流出防備	3,526	木の根や落葉・下草などが、雨による表土の浸食や土砂の流出・崩壊を防ぎます。
干害防備	912	簡易水道など特定の水源を守り、水が涸れるのを防ぎ、きれいな水を供給します。
土砂崩壊防備	309	住宅や鉄道・道路などを守るため、山崩れを防ぎます。
防 風	270	風の強い地域で、田畑や住宅などを守る壁の役割を果たします。
雪崩防止	98	なだれの発生を防ぎます。また、なだれが発せ手した場合はその勢いを弱めます。
保 健	34 (兼種1,594)	森林レクリエーション活動の場として、生活にゆとりと潤いをもたらします。 また、空気を浄化し騒音を緩和することにより、生活環境を豊かにします。
計	75,263 (兼種1,594)	国有林面積 87,032 に対しての保安林率は 86%

端数処理の関係で、計が一致しない場合があります。

◎大畑ヒバ施業実験林



【実験林内のヒバ産地別見本林】

「青森ヒバ(ヒノキアスナロ)」は、「秋田スギ」「木曾ヒノキ」と並ぶ日本三大美林のひとつであり、その大部分が津軽半島と下北半島の国有林内に分布しています。

その青森ヒバの施業を適切に進めるため、大正末期から行われた大規模な調査研究によって、「ヒバ天然林の施業法」が確立されました。

この施業方法を現地に適用し、継続的にデータをとって成果を実証することを目的に昭和6年に大畑ヒバ施業実験林(約220ha)が設定され、以来約90年にわたり計画的に施業を行っています。

◎レクリエーションの森の整備

国有林では、四季折々の自然の美しさを楽しむことができる自然休養林や野外スポーツ林など、人と森林とのふれあいの場としてレクリエーションの森を整備しています。

当署管内には2箇所の自然観察教育林があり、春の新緑や秋の紅葉の美しさから皆様に親しまれています。



【恐山・薬研自然観察教育林】



【せせらぎの森自然観察教育林】

名称・種類	地区名	面積(ha)
恐山・薬研自然観察教育林	恐山・薬研森林レクリエーション地区	810
せせらぎの森自然観察教育林	川内森林レクリエーション地区	176

◎森林整備と木材の安定供給

国有林では、林産物を持続的かつ計画的に生産・供給(販売)することで木材市況の安定化に努めています。特に、地球温暖化防止対策として間伐等の森林整備を推進し、林産物の利用拡大と有効利用が図れるよう、従来は利用がなかった間伐木を積極的に搬出するように取組んでいます。また、下北国有林から産出する優良なヒバ材をブランド化し、ニーズに応じて供給しています。



【青森ヒバの供給】

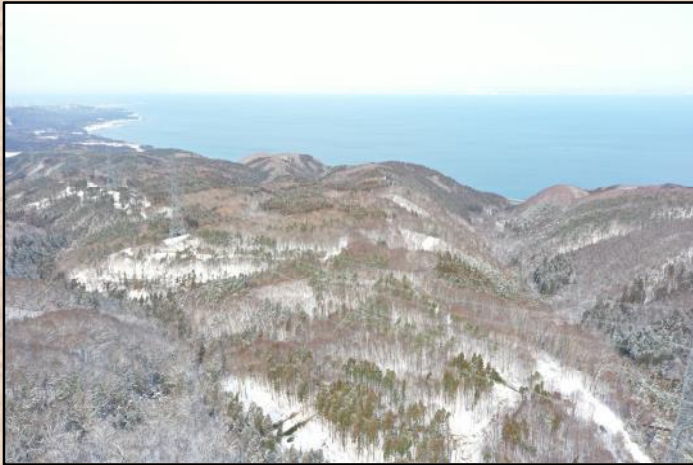


【プロセッサーによる造材】

3 下北流域における 林業成長産業化への貢献

◎ 民有林と連携した施業の推進

平成27年度に青森県、風間浦村易国間財産区、下北地方森林組合及び当署の4者で締結した「易国間地域森林整備推進協定(森林共同施業団地)」について、令和6年3月末に協定を5年間延長し、民有林と国有林が連携した森林整備を更に推進していきます。



【ドローンで撮影した協定区域】



【現地において実施した運営会議】

◎ 関係機関との連携強化

下北流域の森林・林業関係者で構成される「下北流域森林林業活性化センター」の活動や、青森県下北農林水産事務所と定期的に打合会を開催するなど、地域の関係機関と連携し林業を取り巻く様々な問題の解決に向け情報共有、情報交換を行い、林業を通じた地域の活性化に貢献できるよう努めています。

また、年度初めに各市町村等に出向き各事業について説明する場を設け、円滑に事業が実施できるよう、情報交換を行い、相互理解の構築を図っています。



【活性化センター研修会】



【国有林・民有林行政連絡打合会】

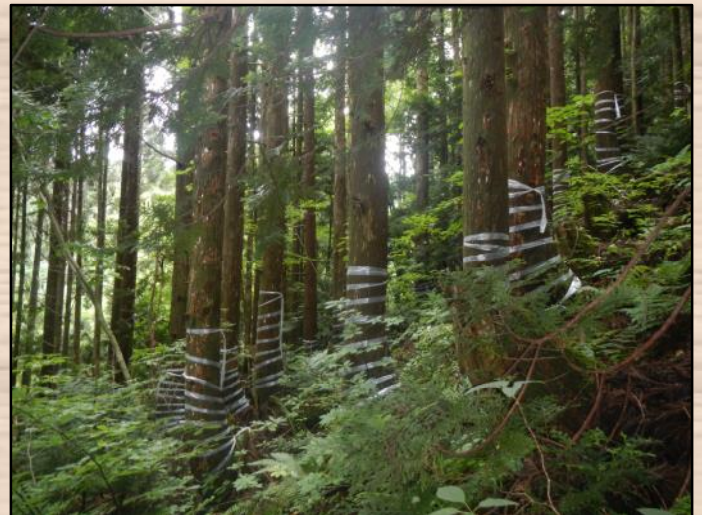
◎病虫害対策の推進

令和6年に初めてカシノナガキクイムシ(カシナガ)によるナラ枯れ被害が確認されたことを受けて、薬剤を使用した伐倒くん蒸や樹幹注入処理、おとり丸太を被害地付近に設置して誘引駆除を行い、被害防止対策に取り組んでいます。

また、クマによる樹皮の剥皮被害防止にも取り組んでおり、生分解テープを樹幹に巻き付け、被害の拡大防止に向けて取り組んでいます。



【ナラ枯れ被害木伐倒くん蒸処理】



【クマによる剥皮被害防止対策】

◎林業の成長産業化に向けた先進的な取組の紹介

ドローン(UAV)の導入により山地災害の早期確認や造林地の状況調査及び請負検査に活用するなど、地域の林業関係者等に先進的な取組を紹介しながら、林業の成長産業化に向けた普及に努めています。



【ドローンを活用した筋刈状況の確認】



【造林機械の紹介】

4 「国民の森」としての管理経営

◎遊々の森

「遊々の森」とは、「森林の中で遊びたい」、「森林と触れ合いたい」、「森林の豊かさを理解したい」という子供達の声に応え、学校などが森林管理署と協定を結ぶことにより、国有林を継続的に利用できるようにする制度です。

当署管内には現在2箇所にて設けられており、様々な体験活動や学習活動を行うフィールドとして利用されています。

名称	協定締結団体	場所	面積(ha)	有効期間
鉱山の森	むつ市（川内町）	むつ市川内町 高野山国有林	27	R11年3月
チャレンジパーク黒森	むつ市（大畑町）	むつ市大畑町 佐藤ヶ平国有林	147	R11年3月



【チャレンジパーク黒森展望台からの眺望】



【安部城鉱山跡の煙突】

◎ふれあいの森

国有林では、「森林づくりに参加したい」、「地球環境の保全に貢献したい」という団体などからの要望にお応えするため、「ふれあいの森」を設定しています。

当署管内には現在1箇所にて設けられており、ボランティア活動のフィールドとして活用されています。

名称	協定締結団体	場所	面積(ha)	有効期間
みらいの森	むつみらいライオンズクラブ	むつ市田名部矢立山国有林	0.08	R11年3月

5 地域と連携した森林整備・啓発活動

◎地元自治体行事への参画・PR

各市町村等で開催される植樹祭等のイベントに参加し、森林整備の啓発活動を実施していきます。また、小学生を対象とした、森林教室や木工教室を開催し、森林環境教育を推進していきます。



【座学の様子】



【葉っぱや青森ヒバを感じてもらう体験】



【葉っぱを使ったしおり作り】



【カードゲーム体験】



【東通村で開催された植樹祭】



【むつ市川内町で開催された植樹祭】

6 国有林野の維持及び保存

◎管内の保護林等

貴重な野生動植物が生息・生育する森林などを保護林に指定し、その保護・保全に努めています。

当署管内には、恐山山地森林生態系保護地域をはじめとする3箇所の保護林があり、保護・保全が図られています。

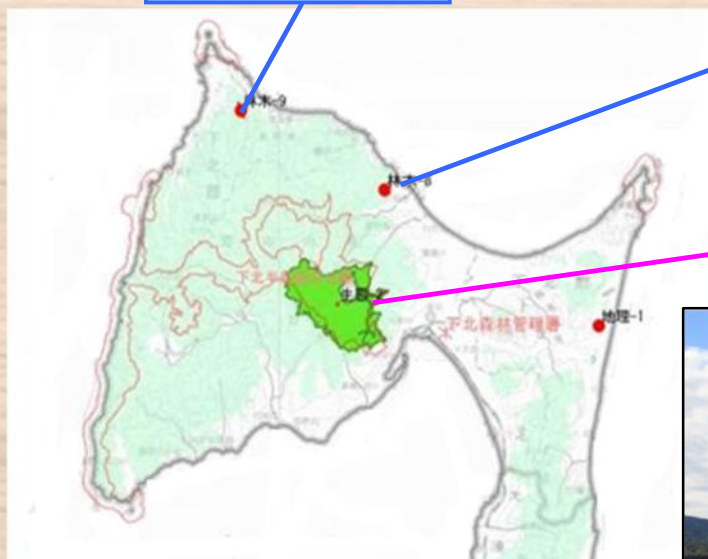
また野生動物保護のため、鳥獣保護区(特別保護地区1,068ha、普通地区8,818ha)が設定されています。



二股山ケヤキ
希少個体群保護林



佐藤ヶ平ヒバ
希少個体群保護林



恐山山地
森林生態系保護地域



【大尽山と宇曽利山湖】

名称	特徴	箇所数	面積(ha)
森林生態系保護地域	森林生態系の遺伝資源・野生生物の保護を図る森林	1	5,538
希少個体群保護林	希少な野生生物個体群の存続を図り、遺伝資源を保護する森林	2	43

7 下北地域の市町村

★ むつ市

むつ市は下北半島の要の部分に位置し、北は津軽海峡、南に陸奥湾を臨み、下北半島一の高さを誇る釜臥山(879m)からは、市街地や尻屋崎、八甲田連峰、岩木山を望むことができます。

日本三大霊場の一つである恐山があることでも知られ、下北半島の奥座敷と呼ばれる薬研温泉・奥薬研温泉もあり、多くの観光客で賑わっています。



★ 大間町

大間町は下北半島北部の本州最北端に位置し、大間崎には「ここは本州最北端の地」の碑があります。その先方の弁天島は白と黒のボーダー模様の灯台が印象的です。

NHK朝の連続ドラマ小説「私の青空」(平成12年放映)の舞台として話題となり、特産のマグロの一本釣りが日本中の注目の的となっています。



★ 東通村

東通村は下北半島の北東部に位置し、北は津軽海峡、東は太平洋に面しています。

太平洋側に鳥取砂丘をしのぐと言われる猿ヶ森砂丘があり、猿ヶ森ヒバ埋没林もあります。また左京沼にはヒメマリモが生息しています。

尻屋崎の白亜の灯台と寒立馬の姿は絵になります。



★ 風間浦村

風間浦村は下北半島の北通りの津軽海峡に面し、「漁り火」と「いで湯」の村として高名で、「風間浦鮫鱈」のブランド化を進めています。

下風呂温泉は、水上勉の「飢餓海峡」に紹介され、井上靖が小説「海峡」を執筆したことでも有名です。



★ 佐井村

佐井村は下北半島の西海岸に位置し、観光と漁業の村です。

壮大な奇岩・怪岩が続く秘境「仏ヶ浦」は、幻想的で極楽浄土を思わせる風光明媚な景勝地であり、国の名勝・天然記念物に指定されています。多くの観光客が観光船や遊歩道を利用して訪れています。



8 令和8年度事業予定(年度当初計画量)

資源内容 令和8年4月現在

単位：千m ³			
区分	針葉樹	広葉樹	計
人工林	5,990	1,283	(37%) 7,273
天然林	5,764	6,635	(63%) 12,399
その他	0	0	(0%) 0
計	(60%) 11,754	(40%) 7,918	(100%) 19,672

※「国有林野施業実施計画」の対象とする国有林野である。

関係法令の指定状況 令和8年4月現在

単位：ha		
法令	名称	面積
自然公園法	下北半島国定公園	17,122
自然環境保全法	猿ヶ森（ヒバ埋没林） 燧岳（青森県自然環境保全地域特別地区）	229
文化財保護法	仏ヶ浦	1,232
	下北半島のサル及び生息北限地	
	縫道石山・縫道石の特殊植物群	
鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律	鳥獣保護区	9,886

※「国有林野施業実施計画」の対象とする国有林野である。

主要事業量 令和8年度当初予定

区分	細目	事業量（当初）
収穫量	素材生産・立木販売ほか	298 千m ³
素材生産量	丸太生産	70 千m ³
更新量	植付	69 ha
造林（保育）	下刈	278 ha
	除伐・除伐Ⅱ類	76 ha
	計	354 ha
保護事業	ナラ枯れ被害防除	20 本
林道事業	改良工事ほか	3 路線
治山事業	土留工ほか	5 箇所

9 下北森林管理署の組織

(令和8年4月1日現在)



【職員数】			
区分	定員内	非常勤	計
所属なし	4		3
総務グループ	7	3	10
業務グループ	10	2	12
治山グループ	1		2
計	22	5	27
森林事務所	8		8
合計	30	5	35

10 下北森林管理署の沿革



昭和62年11月30日 庁舎完成

明治19年 7月 1日	青森大林区署田名部派出所が設置される。
明治23年 4月21日	田名部派出所を田名部小林区署に改める。
明治40年 7月 1日	川内小林区署と田名部小林区署を合併し、川内小林区署となる。
大正13年12月20日	大林区署・小林区署制から、営林局・営林署制になる。
昭和 4年 5月29日	川内営林署・大畑営林署・横浜営林署の三営林署の一部を分割し、田名部営林署となる。
昭和22年	林政統一により、旧御料林を編入する。
昭和36年 3月 1日	田名部町と大湊町が合併し、昭和35年に「むつ市」と改められたことを受けて、むつ営林署と改める。
平成 4年 3月	大間営林署と佐井営林署が統合し、佐井営林署が佐井森林経営センターとなる。
平成11年 3月 1日	組織の再編により下北森林管理署と改称される。 また、川内営林署・脇野沢営林署・大間営林署・大畑営林署が、下北森林管理署の事務所となる。
平成13年 8月 1日	川内事務所・脇野沢事務所・大畑事務所と横浜森林管理センターの一部を下北森林管理署に統合し、佐井森林経営センターが廃止となる。
平成16年 3月31日	大間事務所が下北森林管理署に統合となる。
平成25年 4月 1日	一般会計化に伴い、署の内部組織を再編する。

